

平成 30 年度シラバス

教 科	科 目	単位数	履修学年・クラス
外国語	比較文化	1	2-4～2-A

1. 学習の到達目標

- 韓国語の基本表現を身に付ける。
- 言語と文化の違いを超えて、積極的なコミュニケーション活動を行える。
- 実際の現場で会話表現ができる。

2. 学習の計画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ● 挨拶 ○ 自己紹介 ● 代名詞 ○ これ/それ/あれ ○ この/その/あの 	<ul style="list-style-type: none"> ● 基本的な挨拶表現ができる。 ○ 初めまして。私は〇〇です。よろしくお願いします。 ○ 助詞 「～が・～は」の使い分けが分かる。 ● 日本と韓国の指示代名詞の違いと共通点があり、実際に使って、文章を作れる。
2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ● 動詞・形容詞の活用 ○ ～です・ます(か) ● 前・後ろ・上・下 横・左・右・外・中 ○ 〇〇은/는 〇〇에 있습니다. ● 数字 ○ 일,이,삼,사,오...,하나,둘,셋,넷,다섯... ○ ~개,~장,~살,~호실... 	<ul style="list-style-type: none"> ● 文法の活用を通じ、会話文が作れる。 ○ 叙述文と疑問文の区別ができる。 ● 位置を表す言葉を使って文章を作れる。 ○ 「～も・～に」等の助詞が分かる。 ● 漢数字と固有数字が区別できる。 ○ 電話番号・誕生日が話せる。 ○ 単位名詞を使って、物を数えられる。
3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ● 異文化コミュニケーション ○ 年末・新年挨拶表現 ● 存在の有無表現 (있다/없다) ○ 개가 있습니다/없습니다. ○ 책이 있습니다/없습니다. 	<ul style="list-style-type: none"> ● 異文化コミュニケーションが取れる。 ○ 「あけましておめでとうございます。」 ● 日本と韓国の存在表現の違いが分かる。 ○ 犬がいます・いません。 ○ 本があります・ありません。

3. 評価方法・評価の観点

評価方法	●ノート・副教材の提出	●小テスト	●授業の態度	●定期考査による評価
------	-------------	-------	--------	------------

評価の観点	関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
評価の内容	コミュニケーションに関心を持ち、積極的にコミュニケーションをとろうとするか。	習った言葉を自分の言葉として話せるか、書けるか。	韓国語の文を読んで内容の把握ができるか。	韓国語の学習を通して言葉とその背景にあるものの考え方や文化などを理解し、知識を身に付けているか。

4. 使用教科書・副教材

使用教科書	プリント
副教材	韓国語練習ノート(永岡書店)